

もつた。

五月二十九日 大阪毎日新聞記事

細君連を説く因島佛教婦人會

備後因島の労働争議は會社が休業を發表してから既に一週目にならすがまだ解決の曙光を見出さぬ争議團は廿八日會社の百餘名の解雇通知書を一纏にして返送し尚職工大會における決定文をも送附した一方會社側は頻に舞込む投書によつて職工の結末は強硬でないと思込みをつけてゐるが土生所佛教婦人會は最近活動を開始し職工の細君連を説き所の發展上速かに就職するやうすゝめてゐる。

全 日 全 新聞記事

横断電力因島營業所と罷業一時暗黒で騒ぐ

大阪に本社を有する瀬戸内海横断電力株式会社因島營業所(元因島電氣)の電氣工及火夫十五名は豫て解雇を當その他工場法による待遇規定十條の制定を嘆願してゐたが廿七日は營業所主任は之を認めらば皆發表したか同夜更に本社重役の承認を得る必要があるから六月十日まで待つやうと申渡したので不誠意であるとして同盟休業することに決し同夜は時四十分發電所を引揚げたので必らず消燈され目下争議中の土生所及三庄所は暗黒世界と化したので大騒ぎとなり救急官隊を操出して警戒したが會社では職員等全部を出勤せしめ釜焚きをなし約一時間後漸く黙火するに至つた。

五月二十九日 大阪朝日新聞記事

因島争議永らく救急官一部引揚げ

大阪鐵工所因島工場に於ける争議救急隊のため派遣された廣島縣下各警署署長百六十名は職工側の秩序ある行動に毎日手持急沙汰で暮して